



令和5年度

11月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和5年10月31日



三大幼 HP は
こちらから



実りの秋

園長 安田 徳章

園庭のみかんの樹がたくさん実を付け、枝が随分重そうに池の上に垂れてきています。柿の実も大きく膨らみ、日に日にオレンジの色を濃くしてきています。

10月7日の土曜日、気持ちのよい気候の中で「さんだいスポーツフェスティバル」が行われました。保護者・ご家族の皆様、ご来賓の皆様方には、温かいご声援をいただきありがとうございました。皆様の大きな拍手や励ましの言葉が、こどもたちの自分の力を出す喜び、やり遂げたうれしさなどを一段と高め、一人一人の成長につながりました。

「さんだいスポーツフェスティバル」後のこどもたちは、更に伸び伸びと園生活を送っています。

リレーを繰り返し楽しむ姿、ジャングルジムや登り棒で更に高いところまで登ろうとする姿など、これまで運動遊びに取り組む姿はよく見られていましたが、体の動きが確かに違ってきます。そして、何よりその表情からは「自信」を感じている様子が感じ取れます。「自分もできる」「やってみよう」など様々なことに挑戦する意欲も感じます。

様々なことに挑戦をすれば、そこには、うまくいく喜びもあればうまくいかないつらさを感じることもあるでしょう。それでもあきらめずに頑張ることや、最後までできなくても「ここまで頑張れた」という自分の行ってきたプロセスを振り返り、肯定的に感じる感覚を味わうことが、幼児にとって大切な経験になると思います。

10月18日に本園を会場として実施した「亀戸大島地区ブロック研究会」の中で、うまくいかない自分も含めて「自分に対する肯定的な感情をもつ」体験を重ねることが、いわゆる「自己肯定感」を育てていると言えるのではないかと学びました。自己肯定感が高い人は、精神的に安定しており、困難や逆境に出くわしても「自分なら大丈夫」「自分ならできる」という感覚をもち、冷静な気持ちで乗り越えることができる、とも言われているそうです。

こどもたちが様々なことに挑戦し、自己肯定感を育む基となるのが、心の安定、安心感です。その源となるのは、第一には保護者の皆様の愛情だと思えます。私たち教職員も、保護者の皆様と力を合わせて、こどもたちに愛情をたっぷり注ぎ、こどもたちが心の栄養をしっかりと蓄えていけるよう努めてまいります。実りの秋に、こどもたちが心と体を更に大きく膨らませてくれることを願って。

※園内研究についての詳細は、本園 HP をご覧いただけたら幸いです。



今月の指導のポイント



年中りんご組

朝晩と日中の寒暖差が感じられる季節になりました。こどもたちは戸外で元気にボール遊びや鬼遊びなどで遊んでいます。またさんだいスポーツフェスティバルの経験を通して、年長児とリレーを楽しむ姿もあります。簡単なルールのある遊びを取り入れて楽しさを感じられるようにしていきます。

園外保育で拾ったドングリを使って遊ぶ姿もあります。園庭の自然にも変化が見られ、秋の自然に興味・関心をもち、遊びに取り入れられるようにしていきます。

生活面では、手洗い・うがい、歯磨きなどの大切さや必要性を感じ、自分から丁寧に取り組むなど、自分なりに園生活の見通しをもち、身の回りのことに進んで取り組めるようにしていきます。

年長にじ組

さんだいスポーツフェスティバルでは、リズムやリレーだけでなく、司会や係など、自分のやる事が分かり、進んで取り組もうとする姿が見られました。学級の友達と力を合わせて取り組んだり、自分の目標に向かって挑戦したりするを通し、達成感や満足感を味わうことができました。引き続き、様々な運動遊びに取り組めるようにし、一人一人の自信につなげていきたいと思えます。

友達と一緒に相談して取り組む活動として、遊園地ごっこをテーマに活動を進めていきます。友達と共通の目的に向かって活動を進める中で、自分の思いを言葉で伝えたり、友達の言葉を聞き、相手の思いに気付いたりしながら活動を進めていけるよう援助していきます。そして、友達と一緒に取り組む楽しさや満足感を味わえるようにしていきます。